

令和元年度

子ども議会 答弁書

(発言順)

質問者 平井 ひらい ののか 音乃楓 議員 (8番)

1 ゴミステーションに関することについて

ただいまの平井 ひらい ののか 音乃楓議員のご質問にお答え申し上げます。

ゴミステーションに関することについてであります。本市では家庭から出されるごみについて、ルールを守ってごみ出しをしていただけるよう、いろいろな対策を行っております。その一つに間違っただごみ袋に×印シールを貼り、残しておくことで、本人に間違っていることを気づいてもらい、ルールや分別方法を再確認してもらうという方法です。このことにより、以前に比べルール違反ごみも少なくなっております。また、その地域の問題に沿った看板の設置や、ごみカレンダー・ごみの分け方出し方パンフレットの配布などにより、市民の皆さんにごみ出しについてお願いをしております。さらに、本市においては、「沼田市環境保健協議会」という組織があり、それぞれの地域に役員さんがおられますが、その役員さんや区長さんを中心に、ゴミステーションの管理や分別の推進など、いろいろなことでご協力をい

ただいております。

ただ、^{ひらい}平井議員のご指摘のとおり他の地区から、ごみを置いて行ってしまうケースがあるということも事実であり、問題であることは認識しております。

このようなごみ問題につきましては、ルールやマナーの問題であり、ごみを出される方にわかってもらうしかありません。

このため、今後も引き続き、役員さん区長さんと連携を図りながら、地道ではありますがルールを守っていただけるような啓発活動等を行い環境衛生に取り組んでいきたいと考えております。また、引き続き^{ひら}平井議員を始めとする地域の皆様のご協力をお願い申し上げます。

以上申し上げます、^{ひらい}平井 ^{ののか}音乃楓議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 いわかた たいち
岩 片 大 知 議員（20番）

1 学習室の設置について

ただいまの^{いわかた}岩^{たいち}片大知議員のご質問にお答え申し上げます。

学習室の設置についてであります。これまでも、図書館や中央公民館の一部を開放し、学生の皆様の学習や勉強の場として提供しております。また、テラス沼田では、テラスやロビー等にテーブルとイスを多数設置するとともに、6階にある市民活動拠点コミュニティテラスのロビーを開放し、勉強や歓談など、自由に利用していただいております。更に、テスト期間前は、ニーズが高いことなどから、10月からは、市民活動拠点コミュニティテラスのロビーを日曜、祝日も開放するとともに、4階の庁舎会議室の一部も、学生対象の自習室として開放できる日を設けておりますので、ご理解いただきたいと考えております。

なお、庁舎会議室の自習室利用につきましては、市ホームページでご案内しております。

以上申し上げまして、^{いわかた}岩片^{たいち}大知議員のご質問に対する答弁と

させていただきます。

質問者 つつみ 堤 ゆうご 祐悟 議員 (19番)

1 移動図書館について

ただいまの つつみ 堤 ゆうご 祐悟議員のご質問にお答え申し上げます。

移動図書館についてであります。移動図書館は、図書館から遠い所に住まいがあり、図書館になかなか来ることができない人のために、行っている行政サービスです。

現在、小学校は、沼田小学校を除く10校を巡回していますが、中学校は巡回しておりません。ただし、毎月1回、午後2時30分から午後4時15分まで、多那小学校で移動図書館を開設しておりますので、多那中学校のみなさんにつきましては、先生と相談の上、ご利用いただければと思います。

また、市内の中学生が、もっと利用できる移動図書館を増やすことにつきましては、現状では難しい面もありますが、回数や場所などの見直しも含め、今後、研究してまいりたいと考えております。

以上申し上げます。 つつみ 堤 ゆうご 祐悟議員のご質問に対する答弁とさ

せていただきます。

質問者 ^{やまだ}山田 ^{りくと}陸翔 議員（12番）

1 沼田市の観光について

ただいまの^{やまだ}山田 ^{りくと}陸翔議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市の観光についてであります^{やまだ}が、山田議員のおっしゃるとおり、本市には、玉原高原や吹割の滝などに代表される自然や、フルーツ狩り、温泉やスキー場など、四季折々の観光素材が豊富にあるうえ、比較的首都圏から近いことから、観光バスを市内で見かける機会も多いと思います。

現在、沼田市では来年開催される群馬デスティネーションキャンペーンや東京オリンピック・パラリンピックの開催により国内外からの多くの観光客をお迎えするため、今ある観光素材の磨きあげや新たな資源の発掘を検討するなど、群馬県や各観光協会などの関係団体と連携を図りながら準備を進めているところです。

また、イベントにおいては、今年の沼田まつりには3日間で約25万人、沼田花火大会には約8万人の人出があり、そのほかのイベント

にも大勢のお客様に訪れていただいておりますが、より多くの方に参加いただくためにも首都圏で開催する観光キャンペーンの他に、効果的に情報拡散ができるインスタグラムやフェイスブック、ツイッターなどのSNSや各種公式ホームページの内容をより一層充実させ、効果的な情報発信をすることで、より多くの皆様に足を運んでいただけるよう、努力して行きたいと考えております。

以上申し上げます、^{やまだ}山田 ^{りくと}陸翔議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 おおだけ しょうた
大竹 翔太 議員（４番）

1 沼田市の農業の未来を考える

ただいまのおおだけ しょうた
大竹 翔太議員のご質問にお答え申し上げます。

本市においても、少子、高齢化による農業の担い手不足が深刻な課題となっており、力強い農業を継続していくためには、農業を継がれる方や新しく農業を始める方の育成が急務となっております。

農業従事者の減少につきましては、国や県の補助金を活用しながらトラクターなどの農業機械の購入を支援し農作業の効率化を図り省力化を進めるほか、新しく農業を始めたい方と農業者とのマッチングにより農業の技術指導を行い新しく農業を始めた方の経営の安定と定着を進めております。

次に、荒れ地の活用方法についてですが、農地利用状況調査により現状の確認を行い、利用可能な農地については、規模拡大を考えている農業者とマッチングを行い、貸し手から借り手へ効率的に農地の貸し借りができるようなシステムづくりが構築されております。

また、^{おおだけ}大竹議員の言われるとおり、沼田市では寒暖差の大きい気候を活かした、おいしい野菜や果物がたくさん生産されております。

本市で生産されるおいしく安全な農産物を多くの人に知ってもらい食べていただくため、海外への販路開拓や農産物を加工した特産品の開発への支援など、これからの農業が発展していけるよう努めているところであります。

以上申し上げます、^{おおだけ}大竹 ^{しょうた}翔太議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 おばた りも
小 島 理想 議員 (15番)

1 テラス沼田およびその周辺の活性化について

ただいまのおばた りも
小 島 理想議員のご質問にお答え申し上げます。

テラス沼田およびその周辺の活性化について、であります。テラス沼田の周辺である本町通りにおいて、土地区画整理事業を手法とした活性化事業を実施しています。

この事業では居住環境の改善と商業活力の向上を基本とし、にぎわいの復活や魅力的な都市空間の形成を目指し、歴史や文化に根ざした、住民にやさしく、快適で活力あるまちづくりを推進しています。

この事業の実施により、テラス沼田周辺や本町通り東側の上之町においては、広い歩道が整備されたり、使いやすくなった土地に、店舗や福祉施設および生方記念文庫などの公共施設が新たに整備されています。

おばた
小 島 議員のご提案のとおり、新たな拠点として整備したテラス沼田やその周辺に、住民のニーズに合わせた店舗や施設が整備されるこ

とにより、多くの世代の人が気軽に集える空間となり、活性化につながるものと考えておりますので、今後も関係者や住民の意見を取り入れながらまちづくりを進めていきたいと考えております。

以上申し上げます、^{おばた}小島^{りも}理想議員のご質問に対する答弁とさ

せていただきます。

質問者 ^{おのづか}小野塚 ^{おうき}央樹 議員（2番）

1 車から人を守る安全対策について

^{おのづか}ただいまの小野塚 ^{おうき}央樹議員のご質問にお答え申し上げます。

車から人を守る安全対策についてであります。群馬県警察本部でまとめた、平成30年の沼田市内における交通事故発生件数は196件、その内、交差点及び交差点付近での事故が117件、約60パーセントとなっております。最近、歩行者が信号待ちしているところに車が突っ込む事故が多発する中、その原因は、スピードの出しすぎや信号見落とし等から発生するものがほとんどであり、交差点での事故防止が重要な対策であると認識しております。このため、車を運転する人や歩行者などに、交通ルールや交通マナーを守ることの大切さを広める運動を推進しております。また、事故発生時の歩行者被害を最小限にするため、鉄製ポールやガードレール等の設置について、各道路管理者で行っております。

通学路における安全対策としましては、「沼田市通学路交通安全プ

プログラム」に沿って、毎年5月末までに実施する各小学校の通学路点検を受けて、夏休み期間中に道路管理者、学校、警察、教育委員会等が合同で点検を実施し、危険箇所の把握や改善に向けた検討を重ね、グリーンベルトの新設やポストコーンの設置、薄くなった横断歩道や白線の補修等の整備を行ってきております。

今後も、道路管理者や警察など関係する団体が一体となって交通安全運動を推進するとともに、歩道等の整備を計画的に進め、歩行者の安全対策に努めてまいりたいと考えております。

以上申し上げます、^{おのづか}小野塚 ^{おうき} 央樹議員のご質問に対する答弁と

させていただきます。

質問者 ^{ひらかた}平形 ^{ひなた}陽詩 議員（9番）

1 森林の整備や保護に関することについて

ただいまの^{ひらかた}平形 ^{ひなた}陽詩議員のご質問にお答え申し上げます。

森林の整備や保護に関することについてであります。 「しらさわエコキッズクラブ」の取組については、よく聞いており、自然や森林の保護について考え活動していることはとても重要なことです。

小学校5年生の社会科では、森林資源の役割について学んでおります。また、尾瀬学校では、自然の素晴らしさを知り、その自然を守ることの大切さを学んでおります。

身近な環境保全にかかわる活動については、各学校が実態に応じて取り組んでいるところでありますが、今後、しらさわエコキッズクラブなどの活動を紹介し、各学校が工夫して森林の整備や保護につながる活動にも取り組めるよう、支援していきたいと考えております。

以上申し上げまして、^{ひらかた}平形 ^{ひなた}陽詩議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 たちき 立木 ゆうと 悠翔 議員 (18番)

1 利根町の活性化について

ただいまの^{たちき}立木^{ゆうと}悠翔議員のご質問にお答え申し上げます。

利根町の活性化についてであります。人口減少にともなう空き家の増加は沼田市にとって大きな課題になっています。平成28年9月の実態調査における市全体の空き家数は685戸で、うち利根地区の空き家数は153戸でありました。そのため、本市では沼田市空家等対策計画を策定し、防災・防犯・安全・環境・景観の阻害など多岐にわたる課題解決に向けて努力しています。

また、移住促進のため、空き家を活用した「おためし住宅」を移住希望の方に貸し出しし、沼田の暮らしを体験していただく取組みや、首都圏で開催される移住相談会では、空き家情報を提供しています。

^{たちき}立木議員ご提案の空き家を宿泊施設に転用したり、外国人観光客との交流を行うことにつきましては、法律上の規制など課題はありますが、今後研究を進めるとともに、観光関係団体や地域の皆さんと共

に、引き続き、利根町の活性化について検討したいと思います。

以上申し上げまして、^{たちき}立木 ^{ゆうと}悠翔議員のご質問に対する答弁とさ

せていただきます。

質問者 ^{きむら}木村 ^{ひろき}弘輝 議員（7番）

1. テラス沼田に関すること

ただいまの^{きむら}木村 ^{ひろき}弘輝議員のご質問にお答え申し上げます。

テラス沼田の利用状況についてであります。テラス沼田には、市役所のほか16の店舗や事務所が入居し、市職員約370人を含め、約500人が勤務しております。利用者につきましては、子ども広場が1日あたり約80人ですが、多い日には200人を超えるなど、移転前の約20人と比べ、大幅な増加となっております。トレーニングプラザにつきましては約130人、歴史資料館は約60人など、5月7日のオープン以来、各施設とも多様な世代の方に利用いただいております。

次に、防災広場ミッテであります。にぎ賑わいを創出するため、多目的な利用にも対応可能なイベントスペースとして、市が直接行うイベントのほか、貸し出しを行い、毎月フリーマーケットなどが開催されております。また、万が一の災害に備えて、雨水を利用し、断水時

でも利用できる防災対応のトイレや防災備品庫を設置しているほか、
停電時の対応として、非常用発電機を整備するなどの対策を講じてい
ます。

次に、今後設置予定の施設についてであります。現在空いており
ます1階西側の区画について、利活用方法を検討しており、1日も早
い使用開始に向けて努めてまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、木村^{きむら} 弘輝^{ひろき}議員のご質問に対する答弁とさ
せていただきます。

質問者 ^{たかはし}高橋 ^{ほのか}和花 議員（10番）

1 外国の人にも沼田市の魅力を伝える環境づくりについて

ただいまの^{たかはし}高橋 ^{ほのか}和花議員のご質問にお答え申し上げます。

外国の人にも沼田市の魅力を伝える環境づくりについてであります
が、沼田市に観光に訪れる人は年間約280万人で、その内、外国人
観光者の数は把握できていませんが、老神温泉の外国人宿泊者数は平
成30年度が1,550人で、平成26年度の879人と比べると、
2倍近くの増加となっています。

また、来年4月から6月には、JRと群馬県が主催する国内最大級
の観光キャンペーンである群馬デスティネーションキャンペーン（群
馬DC）や東京オリンピック・パラリンピックが開催されるため大勢
の外国人観光者の来日が見込まれますので、一人でも多くの人に沼田
へ訪れてもらえるよう、他の地域や関係機関と連携しながら、沼田市
の特徴を発信して行くことが大切だと考えています。

具体的な取り組みとしては、新たな観光ツアー商品を作ってもら

ための観光事業者へのキャラバンや沼田市の観光素材を多くの方に知っていただくための観光キャンペーンなどのPR活動を行ったり、多くの方へ同時に情報発信できるテレビ番組などに取り上げてもらうための情報提供を行っていきます。

また、情報の拡散に有効なインスタグラムやフェイスブック、ツイッターなどのSNSの活用に加えて、外国人旅行者に影響力のあるインフルエンサーを沼田市に招待し、ブログなどで沼田市の魅力を発信してもらうことで、より多くの外国人の方々に関心を持ってもらえるよう、効果的な情報発信を積極的に進めて行きたいと思います。

あわせて、訪れた外国の方々に沼田ファンになっていただくためには、多くの市民の皆さんにも沼田市の歴史や文化を理解したうえで、おもてなしの心を持って積極的にコミュニケーションを図っていただくことが大変重要であると考えていますので、ここに参加されている各議員の皆さんにも、ご協力をお願いします。

以上申し上げまして、^{たかはし}高橋 ^{ほのか}和花議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 ^{うしき}宇敷 ^{まゆ}真佑 議員 (22番)

1. 沼田市の観光地化について

ただいまの^{うしき}宇敷 ^{まゆ}真佑議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市の観光地化についてであります。本市における市街地観光は、沼田公園、テラス沼田、上之町の文化施設群を結ぶL字型の導線が重要であり、^{うしき}宇敷議員ご提案のとおり、その中でもテラス沼田の活用は大変重要なことであると考えています。

8月に行われた沼田まつりの期間中に物産展を開催したり、台風の影響で中止になってしまいましたが、「沼田市産業展示即売会」もテラス沼田での開催を予定していました。

また、11月9日の真田まつりでも、普段は議場として利用している多目的ホールを使った歴史講演会を計画しています。

^{うしき}宇敷議員のご指摘のとおり、より多くの人にイベントへ訪れてもらうために情報の発信は大変重要であり、チラシやポスターなどによる告知や、テレビやラジオ、新聞、雑誌などの従来からの方法による

周知、及び国内外への情報拡散に有効なインスタグラムなどのSNS
に代表されるITメディアの活用をよりいっそう充実させることで、
より効率的、効果的な情報の発信に繋げて行きたいと考えます。

また、各イベントの企画内容についても、皆さんの意見をうかがい
ながら、より多くの方に参加いただけるよう改善して行きたいと思
います。

以上申し上げまして、^{うしき}宇敷 ^{まゆ}真佑議員のご質問に対する答弁とさ
せていただきます。

質問者 ^{たかしま}高島 ^{いつせい}一誠 議員（24番）

1 市内のゴミの管理について

ただいまの^{たかしま}高島 ^{いつせい}一誠議員のご質問にお答え申し上げます。

市内のゴミの管理についてであります。本市では、平成25年10月に「沼田市くらしの環境美化条例」を制定し、市民や本市を訪れる観光客に対しても、公共の場所において自ら生じさせたごみを持ち帰り、又は適正に処理し、くらしの環境美化に努めることとされました。市では条例の施行に合わせてキャンペーン活動を行い、現在も広報誌や市ホームページで情報発信しているほか、各種イベントでも積極的に周知活動を行っています。また、本市が管理する施設では、基本的小さいごみ箱を設置しておらず、ごみの持ち帰りを推進することによって、自分達の身の回りの環境美化と、風光明媚な本市の自然環境の保全を図ろうとしているところであります。

一方で、ごみのポイ捨ては依然として見受けられ、こうした行為はごみの不法投棄などにも繋がる問題と認識していることから、ポイ捨て

て防止看板や不法投棄防止看板を作製し、必要に応じて区長さん等に設置していただいているほか、市民の皆さんで組織されている「沼田市環境保健協議会」と連携した「市内一斉清掃」を春と秋の年2回実施しており、毎年多くの市民の皆さんにご参加いただきながら市内の道路や河川などの環境美化に取り組んでおります。また、町内会や育成会などのボランティア活動としてごみ拾いなどの環境美化活動にご協力いただいているところであります。

今後、郷土愛溢れる市民の皆さんと共に、本市で暮らす人や本市を訪れる人、そして本市の自然にやさしいまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

以上申し上げます、^{たかしま}高島 ^{いつせい}一誠議員のご質問に対する答弁

とさせていただきます。

質問者 ^{おおかわら}大河原 ^{あお}蒼央 議員（16番）

1 交通事故をどうやって減らすか

^{おおかわら}ただいまの大河原 ^{あお}蒼央議員のご質問にお答え申し上げます。

交通事故をどうやって減らすか、であります^{おおかわら}が、大河原議員のおっしゃるとおり、本市における交通事故は、この10年間で発生件数、死傷者ともに大きく減少いたしました。その要因については、警察の取り締まりの効果であったり、安全性能が向上した車が普及したことなども考えられますが、交通指導隊、交通安全会などの交通安全に取り組む団体のみなさんにご協力いただき、児童生徒に対する交通安全教室や、街頭指導などを通じて、市民のみなさんの交通安全に対する意識が高まったこと、また、市道等の整備と併せて道路標示や注意看板などの充実が図られたことなどが考えられます。

しかしながら、減少したとはいえ、昨年1年で196件の交通事故が発生しております。これらの事故により、命を落としたり、ケガをしたり、何より自分や自分の大切な人が交通事故に遭って、悲しい思

いをした人がたくさんいることを考えると、依然として大きな数字であると認識しております。

今後関係機関と連携し、交通事故の根絶に向けた取り組みを、手を緩めることなく推し進めてまいりたいと考えております。市民のみなさんには、交通ルールを守ることで、自分が事故に遭う確率が格段に下がりますので、まずはみんなで交通ルールを守ることを徹底していただければと考えております。

以上申し上げます、^{おおかわら}大河原 ^{あお}蒼央議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 ^{いくま}井熊 ^{ゆうと}夢翔 議員（23番）

1 沼田市の観光のこれからについて

ただいまの^{いくま}井熊 ^{ゆうと}夢翔議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市の観光のこれからについてであります。井熊^{いくま}議員の通学されている利根実業高校の皆さんには、日頃より、えだまメンチの販売やそば打ちなどにより本市の多くの行事にご協力をいただいております。深く感謝申し上げます。

沼田市は、リンゴに代表される果物や高品質な野菜、お米、えだまメンチやとんかつ街道などの「食」、真田氏や土岐氏などの多くの遺産を残す「歴史」、玉原高原や吹割の滝に代表される豊かな「自然」を観光振興の3本の柱と考え推進しております。

沼田市が観光客に溢れ豊かな場所へと成長していくためには、訪れた観光客の方に興味を持ってもらえるような話題や観光スポットの紹介などを積極的に行うことで、訪れていただいた方に満足していただき、再び沼田へ訪れたいと思っていただけるような対応を心掛けて行

く事が大切だと思えます。

今後におきましても、沼田市の素晴らしい特徴である「食・歴史・自然」における各素材を更に磨きあげ魅力的なものにしていくことで、多くの観光客がそれを目的に本市へ訪れていただけるよう各関係団体と連携を図り推進して参りたいと考えております。

以上申し上げます、井熊^{いぐま} 夢翔^{ゆうと}議員のご質問に対する答弁とさ

せていただきます。

質問者 おおかわら のどか
大河原 和花 議員（6番）

1 沼田市の未来のスポーツ施設について

ただいまのおおかわら のどか
大河原 和花議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市の未来のスポーツ施設についてであります。一人でも多くの市民がスポーツに興味を持ち、親しんでいただけることにより、沼田市のまちづくりの目標としております「健康でこころ豊かに暮らし、しあわせを実感できるまち沼田」を実現するため、スポーツ施設の充実を進めております。現在、沼田市には、屋内スポーツ施設が12施設、屋外スポーツ施設が22施設あります。

屋内スポーツ施設では、ZACROSアリーナぬまた（沼田市民体育館）が、LED照明や冷暖房を完備し、本年4月にリニューアルオープンいたしました。また、沼田公園内の沼田武道場と沼田小学校講堂記念体育館の代わりに東原新町にあります市保健福祉センターの隣に（仮称）沼田市武道場として建設する計画があります。

屋外スポーツ施設では、沼田公園内の野球場とテニスコートの代わ

りに沼須町に野球場1面、夜間照明付きテニスコート8面、ジョギング・ウォーキングコース等の建設を行っております。完成は、令和2年(2020年)3月を予定しております。

来年には、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。パラリンピック競技を体験できる場所や道具、経験者に教えてもらえるイベントなどの計画につきましては、パラリンピック独自競技の一つであるボッチャの道具を購入し、市保健福祉センター等で関係者の皆様に楽しんでいただいております。今後、その普及について、競技の講習などを含め進めてまいりたいと考えております。

以上申し上げます、^{おおかわら}大河原 ^{のどか}和花議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 ^{かない}金井 ^{るり}瑠莉 議員（13番）

1 沼田市の少子高齢化対策と土地利用について

ただいまの^{かない}金井 ^{るり}瑠莉議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市の少子高齢化対策と土地利用について、であります。今年5月に複合施設としてリニューアルオープンした「テラス沼田」は、分散していた市役所機能の集約だけでなく、歴史資料館の新設や子ども広場の充実を図るなど、市民の皆さんが住みやすくなるよう都市機能の充実を図っているところであります。

また、沼田市には、28箇所の都市公園や緑地があり、多くの方々に利用いただいております。特に、沼田公園は、NHK大河ドラマ「真田丸」の放送を契機として歴史的に注目され多くの観光客が市外から訪れております。

これらの都市公園については、遊具等の充実を図り、子育て世代が安心して安全に遊ぶことができる公園としていきたいと考えております。

中心市街地の空き屋空き地等につきましては、中心市街地まちづく

り事業により、本町通り沿線の土地を利用しやすい形にして並び換えながら中心市街地へにぎわいを取り戻す取り組みを行っているところ
であります。

今後につきましても、これらの取り組みを継続して実施することで、
少子高齢化等の社会状況に対応する取り組みを行ってまいりたいと考
えております。

以上申し上げまして、^{かない}金井 ^{るり}瑠莉議員のご質問に対する答弁とさ
せていただきます。

質問者 ^{くまがい}熊谷 ^{あお}碧 議員 (5番)

1 沼田市の都市緑化の必要性について

ただいまの^{くまがい}熊谷 ^{あお}碧議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市の都市緑化の必要性について、であります。地域住民の緑化意識を高めるため、国土交通省が「都市緑地法」という法律に基づき、毎年10月を「都市緑化月間」と定め、国土交通省、都道府県、市町村が連携して、都市の緑化及び都市公園等の整備の推進に関する様々な活動を実施しています。

^{くまがい}熊谷議員ご指摘のとおり、沼田市は都心部に比べ、とても緑の多い地域であります。地方公共団体である沼田市においても「都市緑地法」という法律に基づき、都市における緑地の保護や増やす対策を取らなければならないことから、「市民緑化推進事業」を実施し、市民や事業者の方々の緑化活動を支援するための補助金交付、緑のカーテン事業、花いっぱい運動など都市緑化の推進に努めているところであります。

以上申し上げまして、^{くまがい}熊谷 ^{あお}碧議員のご質問に対する答弁とさ

せていただきます。

質問者 ^{なかざわ}中沢 ^{こころ}心 議員（1番）

1 トイレの環境を良くするために

^{なかざわ}ただいまの中沢 ^{こころ}心 議員のご質問にお答え申し上げます。

トイレの環境を良くするために、についてであります。本市では、安心・安全な教育環境を整備するため、計画的に校舎等の改修工事などを実施しております。例えば、地震に耐えられるような改修を行ったり、熱中症対策として、市内の全ての小中学校にエアコンを設置したりしております。

^{なかざわ}中沢議員のご指摘のとおり、学校生活において使いやすいトイレ環境は、大変重要であると認識しております。

現在、市内の全ての小中学校について、建物の状態や改修が必要な箇所を調べるとともに、これから、どのように学校を維持管理していくかといったことをまとめております。トイレの洋式化を始めとする使いやすいトイレの改修についても、併せて検討したいと考えております。

以上申し上げまして、^{なかざわ}中沢 ^{こころ}心 議員のご質問に対する答弁とさ

せていただきます。

質問者 ^{かねこ}金子 ^{めい}愛依 議員（21番）

1 沼田市の財政について

ただいまの^{かねこ}金子 ^{めい}愛依議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市の財政についてであります。本市では、長期的な視点でのまちづくりを行うため、10年ごとに総合計画を策定しています。

現在は、令和8年度までの10年間を計画期間とする第六次総合計画に基づき、「こころ豊かに暮らし、しあわせを実感できるまち沼田」をまちづくりの将来像として設定し、その実現のため必要な施設として、^{かねこ}金子議員ご指摘のように、テラス沼田や学校の整備を進めてきました。その他にも、給食センターやスポーツ施設など、現在も必要な施設の整備を行っているところですが、そのメリットは、現在の住民はもちろん、未来の住民も受けることになり、「未来への投資」であると考えております。

これらの取り組みを行うための費用については、市の収入となる税金や、国・県からの補助金・交付金などを使いますが、実際にはそう

いう収入だけでは足りないため、その分は、市の貯金を取り崩したり、お金を借り入れたりすることになります。

お金を借り入れることで借金が増えるのではないか、というご指摘ですが、借入金額とその利子の7割が国から地方交付税として交付される合併特例事業債などの有利な地方債を活用するとともに、長期的な見通しのもと、適正な管理に努めているところです。

なるべく多くの人に、末永く利用していただく施設ですので、その費用についても、広く、長くご負担いただくことにより、市民共有の財産として有意義にご活用いただけるものと考えております。

以上申し上げまして、^{かねこ}金子 ^{めい}愛依議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 ^{みやけ}三宅 ^{りん}凜 議員 (17番)

1 沼田市における福祉サービスについて

ただいまの^{みやけ}三宅 ^{りん}凜議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田市における福祉サービスについて、現在沼田市内では、どれくらいの割合で、どのような方々が福祉サービスを受けているかについてであります。公的な福祉サービスについては、税金や保険料により支えられており、障害福祉や介護などのための法律に基づいて各種サービスを提供しております。

平成30年度末現在、本市の障害者手帳の所持者は2,996人で、そのうち16.92%、507人が日常生活の支援や就労のための支援などの障害福祉サービスの受給者となっており、そのほか、障害の状況によって補聴器や車いす、義足などの補装具を給付しております。

また、介護サービスにつきましては、65歳以上の高齢者15,743人のうち19.76%にあたる3,111人が訪問サービスや通所介護、施設介護などの介護サービスの対象となる要介護認

定者となっております。

次に福祉サービスを提供する側の介護従事者やケアマネージャーなどの人材は足りているのか、についてであります。介護従事者等の人材不足は、本市に限らず全国的な問題であり、国では、働きやすい環境を整えるために従事者の処遇改善などを行っており、本市としても、その推進を図っているところであります。

以上申し上げまして、^{みやけ}三宅^{りん}凛議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 おの ねね
小野 寧々 議員（3番）

1 市民の健康を守るために

ただいまのおの ねね
小野 寧々議員のご質問にお答え申し上げます。

市民の健康を守るために、についてであります。沼田市では、人間ドックの他に健康診断やがん検診を保健福祉センターや住まいに近い公民館や集会所で受けられる「集団健診」と、病院で受けられる「個別健診」を実施しています。

仕事や家庭の都合に合わせて会場や時間を選べるよう、できるだけ会場を多くし、時間や実施期間も長くして、市民のみなさんに、毎年、健康診断を受けていただけるよう工夫しています。

また、小さいお子さんをお持ちのお母さんのために保育サービスがある「レディース検診」も実施していますので、是非利用していただきたいと考えております。

そのほか、一時的な子どものお世話を有料で行う登録制の「ファミリー・サポート・センター」や、高齢者を対象にしたサービスなども

ありますので、そのようなサービスを利用し、自分のため、家族のためにも定期的に健診を受けていただくよう、さらに情報提供に努めてまいります。

つぎに、自分一人の力で生活できない人を支えている人が入院した時、生活を支えられている人たちが、安心して生活できるサービスにつきましても、施設に短期間入所して、食事、入浴などの日常生活上の支援や機能訓練などが受けられるショートステイや、日常生活上の支援などを日帰りで行うデイサービス、ホームヘルパーが自宅等を訪問し、食事や掃除、洗濯、買い物などの生活援助を行うホームヘルプサービスなど、生活を支えられている人の状態に適したサービスが利用できるようになっております。

以上申し上げます、^{おの}小野 ^{ねね}寧々議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

質問者 ささき ゆり
佐々木 友梨 議員（14番）

1 中学部活動の今後の在り方について

ただいまのささき ゆり
佐々木 友梨議員のご質問にお答え申し上げます。

中学部活動についてであります。沼田市教育委員会では、「教育部活」と称して、部活動を、心の教育の場として位置付けて推進しております。また、「適正な部活動の運営に向けて」という方針を示し、各学校はその方針に基づいて「部活動運営方針」を作成し、部活動の充実に努めております。

近年、生徒数の減少から、競技に必要な人数を確保できない部があり、団体競技では複数校による合同チームによって大会に参加できるようになっております。また、個人競技においても、本人の申し出により、所属している学校に部がなくても参加できるよう各学校が配慮しております。

今後、生徒の皆さんにとって部活動がより充実したものになるために、顧問の教員の代わりに指導や大会引率ができる部活動指導員を配

置したり、外部指導者を派遣したりしていきたいと考えております。

以上申し上げます、^{ささき}佐々木 ^{ゆり}友梨議員のご質問に対する答弁とさ

せていただきます。